

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 英語指導法の一つであるIntake Readingを学ぶとともに、英語の教科用図書の活用方法を学習する。また、教材やICTの活用方法、英語による授業展開やALTとのチーム・ティーチングの方法についての理解を踏まえた5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導と領域統合型の言語活動の指導についての知識・技能を身に付ける。</p> <p>[授業概要] まず、学習指導要領に基づく5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導について英語科指導法Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を再度確認し、複数の領域を統合した言語活動について理解を深める。次に、生徒の間違った英文産出を減らすことができる、齋藤(2011)で提案されたIntake Readingという指導法を学び、加えて、英語の教科用図書(教科書)の活用方法について学習する。また、英語の音声、文字、語彙・表現の指導についても授業映像の視聴等を通して実践方法を学ぶ。さらに、プレゼンテーションソフトウェアや音声編集ソフトウェア等のICTを活用した視聴覚教材の導入を体験し、英語でのインタラクション、ALTとのチーム・ティーチングの方法についてもさらなる知識と技能を身に付ける。模擬授業では、これまで学習した指導法を踏まえた5つの領域の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現の指導も含む)を実施することで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 学習指導要領と検定教科書、領域統合型の言語活動の指導 2. Intake Readingの事前指導と実践方法、教科書の活用、Intake Readingを取り入れた授業とワークショップ、英語の語彙・表現に関する授業映像視聴 3. 教材研究とICTの活用、領域統合型の授業映像視聴、教室英語、英語でのインタラクション、チーム・ティーチング等の効果的な活用 4. 小テスト、模擬授業(1)の準備 5. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ) 6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ) 7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ) 8. 模擬授業(1)の反省とIntake Readingの応用 9. 模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ(面接授業)</p>			

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 『生徒の間違いを減らす英語指導法 インテイク・リーディングのすすめ』 著者名:齋藤榮二 出版社:三省堂 (978-4-385-36559-6) 中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051695) 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051784)</p>			

S31060 [LEH3-010]